

# 社会資本総合整備計画(第1回変更)

広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり(第2期)

令和 5年 4月 1日

福岡県 久留米市

社会資本総合整備計画（重点）

令和 5年 4月 1日

計画の名称	広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり（第2期）										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	令和 4年度 ～ 令和 8年度（5年間）					交付対象	福岡県、久留米市										
計画の目標	<p>・久留米広域連携中枢都市圏の中心である久留米市の玄関口であるJR久留米駅前において、都市機能の集積や街なか居住の促進に取り組み、ネットワーク型のコンパクトな市街地の形成及び中心市街地の活性化を図る。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地居住人口比率</li> <li>拠点機能の向上</li> <li>JR久留米駅周辺地価の伸び率</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式	<p>中心市街地居住人口比率：久留米市全体の人口に対する中心市街地居住人口の割合          （中心市街地居住人口比率）＝（中心市街地地区居住人口）／（久留米市人口）</p> <p>拠点機能の向上：施行地区における、公開空地やオープンスペース等、帰宅困難者等の一時避難場所に利活用できる敷地割合          （拠点機能の向上）＝（公開空地、オープンスペース等）／（施工地区面積）</p> <p>JR久留米駅周辺地価の伸び率：駅から半径500m以内の地価平均伸び率の値〔伸び率とは、事業開始前の時点から事業完了時点の伸び率〕          （伸び率）＝（令和7年値）／（H29年値）</p>																
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	9,580 百万円	A	9,580 百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R4	R5	R6	R7	R8				
A-1	再開発	一般	福岡県	間接	JR久留米駅前第二街区市街地再開発組合	JR久留米駅前第二街区第一種市街地再開発事業	店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市						4,414	1.19		
A-2	再開発	一般	久留米市	間接	JR久留米駅前第二街区市街地再開発組合	JR久留米駅前第二街区第一種市街地再開発事業	店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市						4,414	1.19		
A-3	防省緊	一般	福岡県	間接	JR久留米駅前第二街区市街地再開発組合	JR久留米駅前第二街区第一種市街地再開発事業	店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市						376			地域活性化
A-4	防省緊	一般	久留米市	間接	JR久留米駅前第二街区市街地再開発組合	JR久留米駅前第二街区第一種市街地再開発事業	店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市						376			地域活性化
合計													9,580				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R4	R5	R6	R7	R8				
合計																	
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R4	R5	R6	R7	R8				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R4	R5	R6	R7	R8				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

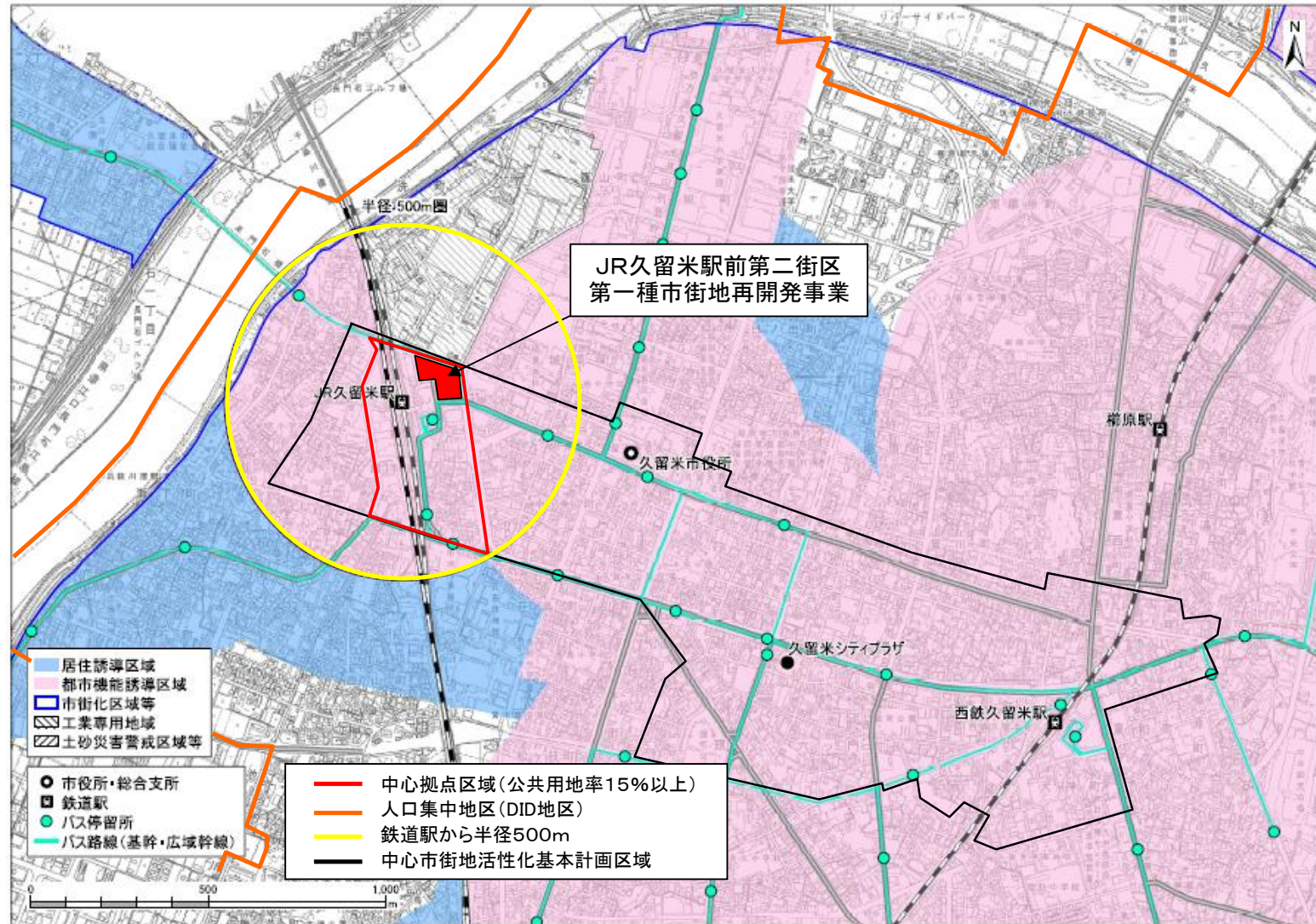
	R4	R5	R6	R7	R8	
配分額 (a)	0					
計画別流用 増△減額 (b)	0					
交付額 (c=a+b)	0					
前年度からの繰越額 (d)	0					
支払済額 (e)	0					
翌年度繰越額 (f)	0					
うち未契約繰越額 (g)	0					
不用額 (h = c+d-e-f)	0					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-					

※ 令和4年度以降の各年度の決算額を記載。

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。  
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

# 参考図面

計画の名称	広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり（第2期）		
計画の期間	令和 4年度 ～ 令和 8年度（5年間）	交付対象	福岡県、久留米市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり(第2期)

事業主体名: 福岡県、久留米市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等	
1) 整備計画の目標と定量的指標との整合性が確保されている。	○
2) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
3) 整備計画の目標と事業内容との整合性が確保されている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1) 整備計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 整備計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
⑥地元の機運	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○